

2025 年 9 月 30 日

住友理工グループ「統合報告書 2025」を発行 ～技術力と対話力の融合が切り拓く「価値づくり」～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、全てのステークホルダーの皆さまに、当社グループの中長期的な企業価値向上に向けた取り組みへのご理解を深めていただくことを目的とし、「統合報告書 2025」を発行しました。



「統合報告書 2025」では、住友理工グループ創立 100 周年となる 2029 年を節目とする経営ビジョン「2029 年 住友理工グループ Vision（2029V）」への取り組みと、今年度が最終年度となる中期経営計画「2025 年 住友理工グループ中期経営計画」の進捗をご報告しています。

今回、報告書の制作にあたり、2029Vの実現に向けた方向性の1つ「持続可能な社会に向けた価値づくり」をテーマに、社長と社外取締役とのダイアログを実施しました。ダイアログでは、「価値づくり」の継続には、当社の技術力を生かした品質向上と信頼獲得、現場の声を起点とした本音での対話ができる企業文化の持続的な醸成が重要であるとの認識を両方で共有し、その様子を掲載しています。また、価値共創により社会課題解決を目指す当社グループの方針に基づいた活動について報告しており、特に、価値づくりの源泉である知的財産において、当社の考え方やデータを一層拡充しています。

当社グループは、世界中で必要とされる“Global Excellent Manufacturing Company”への飛躍に向け、今後もステークホルダーの皆さまとの対話を一層深めるとともに積極的な情報発信に取り組んでまいります。

＜「統合報告書 2025」概要＞

- ・対象期間：2024年4月～2025年3月
- ・対象組織：当社および住友理工グループ会社
- ・掲載ページ URL

和文：https://www.sumitomoriko.co.jp/ir/integrated_report.html

英文：https://www.sumitomoriko.co.jp/english/ir/integrated_report.html

※英文公開は2025年10月末を予定

以 上

―― 住友理工について ―――

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェア（自社調べ）の防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動部品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部／〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>